

私デザイン 石岡瑛子



京都造形芸術大学

RCES芸術編集研究センター主催シンポジウム VOL.2

DESIGN

石岡瑛子トークショー

モデレーター：後藤繁雄

&

『MISHIMA』特別上映会

ポール・シュレーダー監督

日時：2006年4月20日(木)

13:00~17:00

会場：京都造形芸術大学春秋座

入場無料 先着順・事前申し込みあり

協力：京都造形芸術大学ASP芸術表現・アートプロデュース学科

# 石岡瑛子が美術監督を担当した『MISHIMA』初の公開



## 「最強のイメージ」は、いかにして生み出され続けるのか？

石岡瑛子を、ひとつの肩書きで語ることはできない。まして、日本人であるとか、女性であるとかいうことも意味がない。石岡瑛子は、80年代日本の広告界で最も活躍するアートディレクターであるにも関わらず、ニューヨークへ移住した。そして、フランス・F・コッポラやレニ・リーフェンシュタール、マイルス・デイビス、ヴェルナー・ヘルツォーク、あるいはビョークたちと「仕事」をくり広げてきた。それは、究極のコラボレーションであり、ジャンルを超えたイメージの創出作業であった。石岡瑛子こそ、誰もが組みたいと願うイメージの魔術師なのだ。

では、なぜ、石岡瑛子一人が、そんなボーダーレスで、タイムレスなイメージを創出し続けられるのだろうか？ 現実を凌駕しうるイメージを手にてできているのか？ それは、クリエイションに関わる者ならば、かならず知りたい秘密にちがいないだろう。石岡瑛子が昨年出版した力作自伝、『DESIGN 私デザイン』（講談社刊）は、そんなエピソードに満ちている。ぜひ会場に来る前に読んで欲しい。

京都造形芸術大学RCES芸術編集研究センターは昨年、スーザン・ソントグ追悼シンポジウムを行ったが、本年はこのイメージの巨人・石岡瑛子をむかえ、「強度あるイメージ」をつくることを解剖したい。単なるトークショーなどではなく、スリリングな質疑応酬の場にすつもりだ。日本未公開の『MISHIMA』とともに、ぜひ、この事件を目撃せよ!!

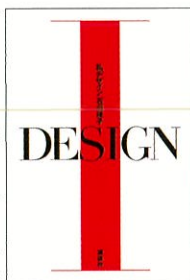
本シンポジウム・モデレーター 後藤繁雄（京都造形芸術大学ASP学科教授）

### タイムテーブル

- 1.石岡瑛子仕事集DVD上映(約15分) 2.石岡瑛子によるトーク ※モデレーター後藤繁雄 3.ポール・シュレーダー監督『MISHIMA』特別上映(121分)

### 石岡瑛子 Eiko ISHIOKA

東京生まれ。東京芸術大学美術学部卒。グラフィックデザイナー、アートディレクターとして資生堂、バルコ、角川書店などの広告キャンペーンを成功に導き、1970年代にセンセーションを巻き起こす。1980年代に入ってニューヨークに活動の拠点を移し、映画、演劇、オペラから展覧会、ミュージックビデオ、サーカス、そしてオリンピックまで、幅広いプロジェクトの創り手として国際的に活躍。アカデミー賞、グラミー賞、ニューヨーク批評家協会賞、カンヌ国際映画祭芸術貢献賞など、国際的な賞を多数受賞。1992年、ニューヨーク・アートディレクターズクラブ名誉賞により殿堂入り。2002年、紫綬褒章受賞。作品集に『EIKO BY EIKO』、『EIKO ON STAGE』。東京芸術大学教授。



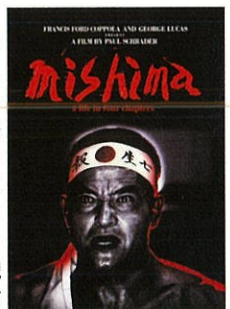
### モデレーター 後藤繁雄

大阪生まれ。編集者、クリエイティブ・ディレクター。編集を中心に、広告制作・企画・商品開発・web開発・展覧会企画など、ジャンルを超えて幅広く活動。「独特編集」をモットーに、写真集やアートブックなど数多く制作。坂本龍一の〈反〉評伝『skmt』、『TOKYO LOVE』（ナン・ゴールデンノ荒木経惟）他多数。KPOキリンプラザ大阪のコミッティーメンバー、「デジタル写真賞」（エスクァイア）審査員などを務める。近著に『スキスキ帖』（abp）、『五感の友』（リトルモア）など多数。京都造形芸術大学ASP学科教授。

### 『MISHIMA : A Life in Four Chapters』

(1985年/アメリカ・日本/121分)

監督ポール・シュレーダー、製作総指揮にフランス・フォード・コッポラ、ジョージ・ルーカスを迎えて日米合作で制作された、三島由紀夫の生涯を描いた映画。1985年のカンヌ国際映画祭に出品され、大喝采の中、芸術貢献賞を受賞。海外での高い評価にもかかわらず、未だ日本未公開の幻の作品となっている。制作、脚本、監督、撮影編集はアメリカ人、出演者は日本人、台詞はすべて日本語で、セット撮影・ロケともに日本で行われた。本編は1970年11月25日、三島由紀夫が「楯の会」の面々と共に東京市ヶ谷陸上自衛隊東部方面総監部で割腹自殺するまでの模様を追いながら、彼の生涯をフラッシュバックで振り返り、『金閣寺』や『鏡子の家』、『奔馬』といった著作のストーリーが織り込まれる内容となっている。美術総監督の責任を担いながら、劇中、小説に基づいたフィクション部分のアートを特に力を入れその美術は、次第に小説の場面と三島自身の生涯がオーバーラップしていく過程で見事に具現化され、三島作品の感触を壮麗に再現している。



- 監督：ポール・シュレーダー ●脚本：ポール・シュレーダー、レナード・シュレーダー
- 音楽：フィリップ・グラス ●撮影：ジョン・ベイリー、栗田豊通（カメラ・オペレーター）
- 製作：トム・ラディ、山本又一郎 ●製作総指揮：フランス・フォード・コッポラ、ジョージ・ルーカス ●美術：石岡瑛子（プロダクション・デザイン） ●衣装：石岡瑛子
- キャスト：緒形拳、塩野谷正幸、三上博史、織本順吉、加藤治子、坂東八十助（5代目、現10代目坂東三津五郎）、萬田久子、沢田研二、勝野洋、永島敏行、利重剛、徳井優他



- ◎地下鉄北大路駅（北大路駅バスターミナル）より
- 市バス204系統循環「上終町京都造形芸大前」下車
- ◎京阪出町柳駅より
- 市バス上終町3系統/百万遍 上終町京都造形芸大行「上終町京都造形芸大前」下車
- ◎JR京都駅/京阪三条駅より
- 市バス5系統/岩倉行「上終町京都造形芸大前」下車
- ◎阪急河原町駅より
- 市バス5系統/岩倉行「上終町京都造形芸大前」下車
- 市バス上終町3系統/百万遍 上終町京都造形芸大行「上終町京都造形芸大前」下車

※聴講を希望される方は以下のHPよりお申し込み下さい。  
<http://www.asp-k.com>

お問い合わせ  
 京都造形芸術大学ASP芸術表現・アートプロデュース学科 芸術編集研究センター 伊藤悠、大木美智子  
 〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116  
 Tel:075-791-9382 Fax:075-791-9429 E-mail:ooki@asp-k.com URL:<http://www.asp-k.com>

